

答え

- ドリルやテストがおわったら、うしろの「がんばりひょう」にシールをはりましょう。
- まちがえたら、かならずやり直しなおしましょう。
「考え方」もよみ直しましょう。



1. ① ひょうと グラフ 1 ページ

		○				
	○	○	○			
○	○	○	○			
○	○	○	○	○		
○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	
カレー	ラーメン	ハンバーグ	とんかつ	やしそば	うどん	

- ②ハンバーグ ③うどん
④ラーメン、とんかつ

考え方 | 人を○ | つであらわします。
②～④は、グラフを見て答えこたましょう。

2. ② たし算と ひき算 2 ページ

- ① しき $16+4=20$ 答え 20 本
② しき $27+3=30$ 答え 30
③ ①20 ②20 ③20 ④40
 ⑤50 ⑥60 ⑦70 ⑧80
④ ①7 ②9 ③5 ④2

考え方 ① 4わふえるので、4をたすと考えます。 $16+4$ のたし算は、1のばらが6と4で10だから、10のたばが1つふえると考えます。
③ たし算をして、10のたばがいくつできるか考えます。

3. ② たし算と ひき算 3 ページ

- ① しき $19+3=22$ 答え 22 本
② ①ア2 ①2 ㊦3 ㊥23
 ②ア3 ①3 ㊦1 ㊥71
③ ①23 ②22 ③21 ④32
 ⑤41 ⑥52 ⑦82 ⑧91

考え方 ③ ④ $27+5$ は、7にあといくつたすと10になるかを考え、あと3とわかったら、たすかず数5を3と2に分わけます。 $27+3$ で30、それに2をたして32と答えをもとめます。

4. ② たし算と ひき算 4 ページ

- ① しき $20-7=13$ 答え 13 本
② しき $40-5=35$ 答え 35
③ ①16 ②12 ③48 ④74
 ⑤61 ⑥55 ⑦33 ⑧87
④ ①29 ②28 ③27 ④26
 ⑤25 ⑥24 ⑦23 ⑧22

考え方 ① $20-7$ は、 $10+(10-7)$ と考えます。

- ② 40を30と10に分けて、その10から5をひくと考えます。
③ ⑧90を80と10に分けて、その10から3をひくと考えます。
④ 30を20と10に分けます。

5. ② たし算と ひき算 5 ページ

- ① しき $23-5=18$ 答え 18 本
② ①ア20 ①2 ㊦20 ㊥2
 ㊦15
 ②ア40 ①5 ㊦40 ㊥5
 ㊦39
③ ①19 ②19 ③48 ④69
 ⑤59 ⑥27 ⑦78 ⑧88

考え方 ① 20から5をひいて15。その15と3で、答えは18です。

6. ③ 時こくと時間 6 ページ

- 1 (じゅんに) 8、8、23、23
 2 1時間30分
 3 ①3時35分 ②1時35分
 ③2時5分

考え方 1 時こくと時こくの間に時間があいます。

7. ③ 時こくと時間 7 ページ

- 1 ①(じゅんに)12、12 ②24
 ③6 ④午後 ⑤15
 2 ①6時間 ②7時間

考え方 2 正午までと正午からあとに分けて考えます。

8. ④ 長さ 8 ページ

- 1 ①センチメートル ②6
 ③6cm ④10cm
 ② ①5cm ②6cm
 ③6cm ④10cm

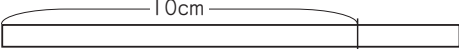
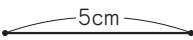

考え方 2 目もり1つ分が1cmだから、そのいくつ分あるかをしらべます。

9. ④ 長さ 9 ページ

- 1 ①10 ②7cm5mm
 ② ①直線
 ②40 ③63
 3 ①3cm5mm
 35mm
 ②9cm2mm
 92mm

考え方 3 ①1cmの目もりが、3つ分で3cm、あと、1mmの目もりが5つ分で5mm。あわせて3cm5mm。

10. ④ 長さ 10 ページ

- 1 
 2 ① 
 ② 

- 3 ①ア 8cm9mm ①6cm5mm
 ウ 9cm6mm
 (ウ)が10cmの長さにいちばん近い。
 ②ア 10cm2mm ①11cm
 ウ 9cm4mm
 (ア)が10cmの長さにいちばん近い。

考え方 3 10cmとのちがいがいちばん少ない長さが、10cmにいちばん近いといえます。

11. ④ 長さ 11 ページ

- 1 ①しき 8cm5mm+5cm
 = 13cm5mm
 答え 13cm5mm
 ②しき 13cm5mm - 10cm
 = 3cm5mm
 答え 3cm5mm
 2 ①5cm7mm ②4cm
 ③7cm3mm ④4cm

考え方 1 ②ちがいをもとめるから、長いほうの①13cm5mmからみじかいほうの①10cmをひきます。
 ② 同じたんのcmどうし、mmどうしで計算します。

12. ⑤ たし算とひき算のひっ算(1) 12 ページ

- 1 ①

	4	2
+	2	0
	6	2

 ②

	1	4
+		2
	1	6

 ② ①48 ②39 ③58 ④99
 3 ①

	2	3
+	2	7
	5	0

 ②

		9
+	1	6
	2	5

 4 ①42 ②85 ③72 ④67
 ⑤70 ⑥90 ⑦61 ⑧31

考え方 ひっ算をするときは、一のくらいどうし、十のくらいどうしを、きちんとたてにそろえてかきます。一のくらいどうしをたして、答えの十のくらいの数を、ひっ算の十のくらいの上にかきます。十のくらいの数をたすときに、いっしょにたすのをわすれないようにします。

13. ⑤ たし算と ひき算の ひっ算(1) 13 ページ

1
$$\begin{array}{r} \text{たされる数} \cdots 36 \\ \text{たす数} \cdots + 25 \\ \hline \text{答え} \cdots 61 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 25 \\ + 36 \\ \hline 61 \end{array}$$

2 ① ひっ算
$$\begin{array}{r} 59 \\ + 28 \\ \hline 87 \end{array}$$
 たしかめ
$$\begin{array}{r} 28 \\ + 59 \\ \hline 87 \end{array}$$

② ひっ算
$$\begin{array}{r} 8 \\ + 42 \\ \hline 50 \end{array}$$
 たしかめ
$$\begin{array}{r} 42 \\ + 8 \\ \hline 50 \end{array}$$

③ ひっ算
$$\begin{array}{r} 47 \\ + 36 \\ \hline 83 \end{array}$$
 たしかめ
$$\begin{array}{r} 36 \\ + 47 \\ \hline 83 \end{array}$$

④ ひっ算
$$\begin{array}{r} 64 \\ + 9 \\ \hline 73 \end{array}$$
 たしかめ
$$\begin{array}{r} 9 \\ + 64 \\ \hline 73 \end{array}$$

3 ひっ算
$$\begin{array}{r} 62 \\ + 29 \\ \hline 91 \end{array}$$
 たしかめ
$$\begin{array}{r} 29 \\ + 62 \\ \hline 91 \end{array}$$

しき $62+29=91$ 答え 91円

考え方 ② ひっ算でするときは、同じくらいどうしを、たてにそろえてかきます。たしかめは、たされる数とたす数を入れかえてたし算をします。たしかめで、答えが同じにならないときは、計算をやり直します。

14. ⑤ たし算と ひき算の ひっ算(1) 14 ページ

1 ①
$$\begin{array}{r} 68 \\ - 35 \\ \hline 33 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 39 \\ - 14 \\ \hline 25 \end{array}$$

2 ① 22 ② 40 ③ 43 ④ 30

3 ①
$$\begin{array}{r} 58 \\ - 51 \\ \hline 7 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 33 \\ - 25 \\ \hline 8 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 51 \\ - 44 \\ \hline 7 \end{array}$$

4 ① 27 ② 18 ③ 16 ④ 24
⑤ 9 ⑥ 7 ⑦ 48 ⑧ 33

考え方 ①、② たし算と同じように、一のくらいから計算します。
③、④ 十のくらいからくり下げてする計算です。十のくらいをくり下げたときに、十のくらいの数を\でけて、1少ない数をかくのをわすれないようにします。

3 ②のように、答えの十のくらいが、ひき算をして0になるときは、その0はかかないことにちゅういしましょう。

15. ⑤ たし算と ひき算の ひっ算(1) 15 ページ

1
$$\begin{array}{r} 17 \\ + 18 \\ \hline 35 \end{array}$$

2 ① ひっ算
$$\begin{array}{r} 67 \\ - 36 \\ \hline 31 \end{array}$$
 たしかめ
$$\begin{array}{r} 31 \\ + 36 \\ \hline 67 \end{array}$$

② ひっ算
$$\begin{array}{r} 71 \\ - 27 \\ \hline 44 \end{array}$$
 たしかめ
$$\begin{array}{r} 44 \\ + 27 \\ \hline 71 \end{array}$$

③ ひっ算
$$\begin{array}{r} 45 \\ - 8 \\ \hline 37 \end{array}$$
 たしかめ
$$\begin{array}{r} 37 \\ + 8 \\ \hline 45 \end{array}$$

④ ひっ算
$$\begin{array}{r} 50 \\ - 5 \\ \hline 45 \end{array}$$
 たしかめ
$$\begin{array}{r} 45 \\ + 5 \\ \hline 50 \end{array}$$

3 ひっ算
$$\begin{array}{r} 26 \\ - 19 \\ \hline 7 \end{array}$$
 たしかめ
$$\begin{array}{r} 7 \\ + 19 \\ \hline 26 \end{array}$$

しき $26-19=7$ 答え 7こ

考え方 ひき算のたしかめは、答えにひく数をたして、ひかれる数になるかどうかを計算します。それがちがっていたら、はじめのひき算をやり直します。

16. ⑤ たし算と ひき算の ひっ算(1) 16 ページ

1 ① 84 ② 94 ③ 65 ④ 50
⑤ 43 ⑥ 65 ⑦ 35 ⑧ 50
⑨ 55 ⑩ 33 ⑪ 55 ⑫ 4

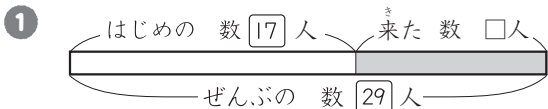
2 ①
$$\begin{array}{r} 53 \\ + 19 \\ \hline 72 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 19 \\ + 53 \\ \hline 72 \end{array}$$

3 ①
$$\begin{array}{r} 74 \\ - 25 \\ \hline 49 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 49 \\ + 25 \\ \hline 74 \end{array}$$

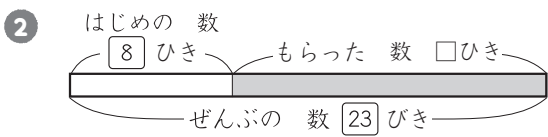
考え方 たし算では、くり上がりがあるときは、くり上がった数をたすのをわすれないようにします。ひき算では、くり下がりがあるときは、くり下がって、十のくらいが1へるのをわすれないようにします。

おうちのかたへ ① ⑧のひき算のように、一の位が $6-6=0$ となったとき、その0を書き忘れないようにします。逆に、⑫のように、十の位の答えが0になるときは、その0を書かないことに注意します。

17. ほうかご 何する? 17 ページ



しき $29-17=12$ 答え 12人

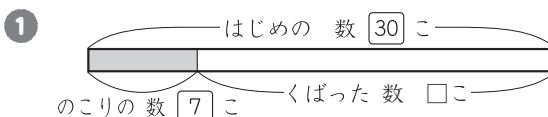


しき $23-8=15$ 答え 15ひき

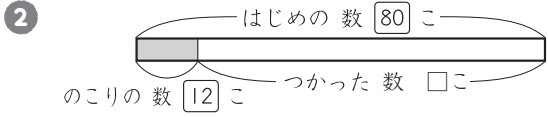
③ しき $34-26=8$ 答え 8まい

考え方 ふえたのがいくつかをもとめるには、ぜんぶの数からはじめの数をひくひき算をします。図をかくと、はじめの数とふえた数とぜんぶの数のかんけいわかります。

18. ほうかご 何する? 18 ページ



しき $30-7=23$ 答え 23こ

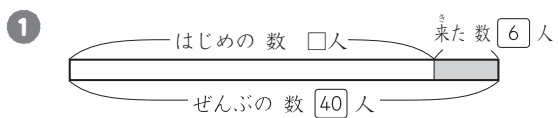


しき $80-12=68$ 答え 68こ

③ しき $23-6=17$ 答え 17こ

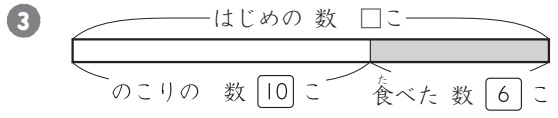
考え方 へったのがいくつかをもとめるには、はじめの数からのこりの数をひくひき算をします。

19. ほうかご 何する? 19 ページ



しき $40-6=34$ 答え 34人

② しき $36-9=27$ 答え 27こ



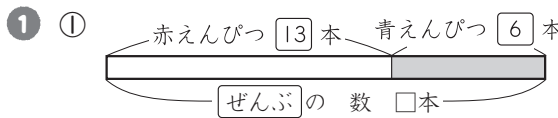
しき $10+6=16$ 答え 16こ

20. ほうかご 何する? 20 ページ

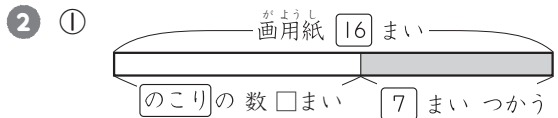
- ① ①㊸ しき㊸ 答え 16人
 ② ㊸㊸ しき㊸ 答え 19人
 ③ ㊸㊸ しき㊸ 答え 35人

考え方 ① はじめの数 35人、帰った数 19人、のこりの数 16人のかんけいを図にあらわします。㊸~㊸の図は、数がわからないものが1つつあります。それが、もとめるものです。

21. ほうかご 何する? 21 ページ



② しき $13+6=19$ 答え 19本



② しき $16-7=9$ 答え 9まい

考え方 もんだい文をよんで、それを図にあらわすと、どんなしきで答えがもとめられるかが、わかりやすくなります。

- ① 赤えんぴつと青えんぴつの本数をたせば、ぜんぶの数をもとめられます。もんだいの「ぜんぶで」ということばから、たし算のしきをつくりましょう。

22. ⑥ 100を こえる 数 22 ページ

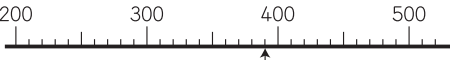
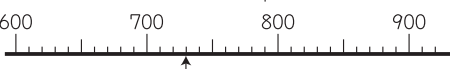
- 1 ①(じゅんに)4、1、8
 ②(じゅんに)4、2
 ③3
 ④(じゅんに)2、0
- 2 ①293 ②104 ③310
- 3 ①154 ②575 ③821
 ④703 ⑤900 ⑥460

考え方 ① 3けたの数は、百のくらい、十のくらい、一のくらいの3つの数字であらわされます。①の418は、100を4こ、10を1こ、1を8こあわせた数です。

23. ⑥ 100を こえる 数 23 ページ

- 1 ㊦80 ①380
- 2 ①20 ②5
 ③25 ④45
- 3 ①220 ②470 ③360
 ④610 ⑤580 ⑥890
- 4 ①50 ②33 ③19
 ④67 ⑤41 ⑥76

24. ⑥ 100を こえる 数 24 ページ

- 1 ①1000 ②せん
- 2 図はしょうりやく。(1つのまとまりが50こなので、まとまりを2つずつかこみます。) 100が(10)こ
- 3 ① 
 ② 
- 4 ㊦835 ①853 ㊵887 ㊹904

25. ⑥ 100を こえる 数 25 ページ

- 1 ①(じゅんに)4、3、㊦
 ②(じゅんに)1、2、㊵
- 2 ①159 < 200 ②343 > 323
 ③401 < 405 ④824 < 842
 ⑤760 > 759
- 3 ①681、293、239
 ②403、350、301

考え方 1000までの数の大きさをくらべます。それには、上のくらいからくらべていきます。上のくらいが同じときは、1つ下のくらいをくらべます。

- 2 ① 百のくらいをくらべて、1と2では、2のほうが大きいので、200のほうが大きいとわかります。③ 百のくらいも十のくらいも同じです。一のくらいをくらべて、1と5では、5のほうが大きいので、405のほうが大きいとわかります。

26. ⑥ 100を こえる 数 26 ページ

- 1 (じゅんに)6、150、150
- 2 しき 700-200=500 答え 500円
- 3 ①130 ②160 ③500
 ④1000 ⑤80 ⑥40
 ⑦600 ⑧600

考え方 何十や何百のたし算やひき算です。10がいくつ、100がいくつと考えます。

27. ⑥ 100を こえる 数 27 ページ

- 1 ①(じゅんに) 大きい、>、買えます
 ②(じゅんに) 小さい、<、買えません
- 2 ①30+40 < 80
 ②60 > 100-50
 ③90 = 70+20
 ④110-50 < 70

考え方 ① ①200 □ 40+150のように、□の左がわと右がわの大きさをくらべて、左がわが大きければ、200 > 40+150とあらわします。
 ②200 □ 120+100のように、□の右がわが大きければ、200 < 120+100とあらわします。
 ③ ③90 □ 70+20は、□の左がわと右がわの大きさが同じだから、90 = 70+20とあらわします。

28. ⑦ か さ

28 ページ

- ① ①リットル ②(じゅんに)4、4
 ② ①2L ②5L
 ③ (じゅんに)1、10
 ④ ①1L3dL ②3dL

考え方 水のかさをはかるのに、1L(リットル)ますをつかいます。1Lは10dL(デシリットル)です。

29. ⑦ か さ

29 ページ

- ① ①(じゅんに)10、100 ②390mL
 ② ①10dL ②1000mL ③1L
 ③ 3000mL
 ④ ①mL ②L ③dL

考え方 1dL=100mL、1L=1000mL

- ① ②小さな1目もりは10mLです。
 ② ②1dLます(つまり100mLます)が10こありますから、1000mLです。
 ③ 2L=2000mL < 3000mLです。

30. ⑦ か さ

30 ページ

- ① ①4 **答え** 4L
 ②3 **答え** 3L
 ② ①2L9dL ②7L6dL ③7L8dL
 ④4L ⑤6L4dL ⑥4L1dL
 ⑦3L5dL ⑧5L

考え方 おなじたんのいのところを計算します。

- ① ①5dL+5dL=1Lになります。
 ② ①は、dLどうしをたします。
 7dL+2dL=9dLだから2L9dLです。
 ②は、Lどうしをたします。
 4L+3L=7Lだから7L6dLです。
 ④は、dLどうしをたします。
 2dL+8dL=1Lだから4Lです。
 ⑤は、dLどうしをひきます。
 8dL-4dL=4dLだから6L4dLです。
 ⑥は、Lどうしをひきます。
 9L-5L=4Lだから4L1dLです。
 ⑧は、dLどうしをひきます。
 7dL-7dL=0だから5Lです。

31. ひょうと グラフ/じ時ごとと じかん 時間
 たし算と ひき算

31 ページ

①

○			
○		○	
○	○	○	
○	○	○	○
○	○	○	○
あめ	チョコレート	クッキー	せんべい

- ②あめ ③せんべい

- ② ①午後4時50分 ②午後3時20分
 ③ ①30 ②24 ③52 ④45
 ⑤54 ⑥91 ⑦43 ⑧87
 ⑨69 ⑩34 ⑪47 ⑫36

考え方 ☆ ①おかし | こを○ | こであらわします。

☆ 長いはりがどれだけうごいたかをしらべます。

おうちの ☆ くり上がりやくり下がりのあるたし算・ひき算を、間違えずにできるようにしましょう。

32. 長 さ/たし算と ひき算の ひっ算(1)

32 ページ

- ① ①70 ②39
 ③(じゅんに)6、5
 ④(じゅんに)8、4、84
 ☆ ①40 ②51 ③39 ④73
 ⑤5 ⑥19 ⑦31 ⑧35
 ☆ ひっ算… 45 たしかめ… 16
 +16 +45
 61 61
 しき 45+16=61 **答え** 61こ

考え方 ☆ 1cm=10mmをもとに考えます。

④ものさしの大きな1目もりは1cm、小さな1目もりは1mmです。

☆ 16こもらうとふえるので、16をたすたし算で計算します。

おうちの ☆ ①は答えの一の位は0を書きます。⑤は、答えの十の位は0になりますが、その0は書きません。

33. 100をこえる ^{かず}数/かさ 33 ページ

- 1 ① 410 ② 52
 ③ 703
 ④ (じゅんに)2、1、7
- 2 ① 518 ② 141 ③ 879
- 3 ① 150 ② 80
- 4 ① 5L 7dL ② 6L 7dL
 ③ 2L 2dL ④ 2L 3dL
- 5 ① 20 ② 1
 ③ 400 ④ 3

考え方 ☆ ① 10が10こで100になります。④ 217は、200+10+7と^{かんが}考えられます。

★ ①は、10が9+6=15こで150です。②は、10が11-3=8こで80です。

おうちの ★ 10がいくつと考えると、簡単に計算できます。

★ 1dL=100mL と 1L=10dL は間違えやすいので注意しましょう。

34. ⑧ たし算と ^{さん}ひき算の ^{さん}ひっ算(2) 34 ページ

- 1 ①

	5	6
+	6	1
1	1	7

 ②

	6	2
+	4	6
1	0	8
- 2 ① 118 ② 112 ③ 129 ④ 137
 ⑤ 125 ⑥ 119 ⑦ 167 ⑧ 145
 ⑨ 115 ⑩ 127 ⑪ 102 ⑫ 109
 ⑬ 104 ⑭ 108

考え方 十のくりにくり上がりがあるたし算のひっ算です。

1 ① 十のくりは、5+6=11で、百のくりに1くり上がります。② 十のくりは、6+4=10で、百のくりに1くり上げて、十のくりに0をかきます。

2 ⑪~⑭は、十のくりのたし算が10になります。百のくりに1くり上げて、十のくりに0をかきます。

35. ⑧ たし算と ^{さん}ひき算の ^{さん}ひっ算(2) 35 ページ

- 1 ①

	9	8
+	6	3
1	6	1

 ②

	4	5
+	5	9
1	0	4

 ③

	9	7
+		5
1	0	2
- 2 ① 112 ② 131 ③ 113 ④ 104
 ⑤ 110 ⑥ 100 ⑦ 107 ⑧ 106
 ⑨ 100 ⑩ 101 ⑪ 107 ⑫ 100
 ⑬ 103 ⑭ 102

考え方 一のくいと十のくいのりょうほうにくり上がりがあるたし算のひっ算です。一のくいから十のくいに、じゅんばんにたし算をしていきます。

1 ① 一のくいは8+3=11で、十のくりに1くり上げます。十のくいは、1+9+6=16で、百のくりに1くり上げます。

36. ⑧ たし算と ^{さん}ひき算の ^{さん}ひっ算(2) 36 ページ

- 1 ①

	3	5
	5	1
+	6	3
1	4	9

 ②

	2	8
	7	9
+	1	6
1	2	3
- 2 ① 95 ② 137 ③ 198 ④ 167
 ⑤ 131 ⑥ 153 ⑦ 160 ⑧ 194

考え方 3つの数のたし算のひっ算です。2つの数のたし算と同じように、一のくい、十のくいのじゅんに計算します。

1 ② 一のくいは、8+9+6=23で、十のくりに2くり上げます。十のくいは、2+2+7+1=12で、百のくりに1くり上げます。

37. ⑧ たし算と ^{さん}ひき算の ^{さん}ひっ算(2) 37 ページ

- 1

	1	4	8
-		6	3
		8	5

 <一のくいの 計算>
 8-3=5
 <十のくいの 計算>
 百のくいから 1 くり下げて 14-6=8
- 2 ① 93 ② 71 ③ 72 ④ 61 ⑤ 66
 ⑥ 72 ⑦ 26 ⑧ 76 ⑨ 86 ⑩ 57
 ⑪ 84 ⑫ 93 ⑬ 98 ⑭ 96

考え方 くり下がりのあるひき算です。

- ② ①～⑦は、一のくりにくり下がりはありません。十のくりはひけないので、百のくりにからくり下げます。
⑧～⑭は、一のくりと十のくりのりょうほうにくり下がりがあります。

38. ⑧ たし算と ひき算の ひっ算(2) 38 ページ

- ①

		9	
	1	0	5
-		2	9
		7	6

 <一のくりの 計算>
 百のくりにから 1 くり下げて 十のくりに 10 にする。十のくりにから 1 くり下げて $15 - 9 = 6$
 <十のくりの 計算>
 十のくりに 9 になったから $9 - 2 = 7$
- ② ① 77 ② 87 ③ 76 ④ 88 ⑤ 89
⑥ 67 ⑦ 88 ⑧ 49 ⑨ 68 ⑩ 96
⑪ 4 ⑫ 94 ⑬ 99 ⑭ 92

考え方 ①、② ⑦～⑭は、一のくりに計算するとき、百のくりにからじゅんにくり下げます。

39. ⑧ たし算と ひき算の ひっ算(2) 39 ページ

- ①

		5	
	3	6	2
-		2	7
	3	3	5

 <一のくりの 計算>
 十のくりにから 1 くり下げて $12 - 7 = 5$
 <十のくりの 計算>
 十のくりに 5 になったから $5 - 2 = 3$
 百のくりに 3
- ② ① 253 ② 400 ③ 682 ④ 479
⑤ 380 ⑥ 545 ⑦ 269 ⑧ 934
⑨ 708 ⑩ 803 ⑪ 200 ⑫ 540

考え方 3けたと2けたのたし算とひき算のひっ算です。一のくりに、十のくりに、百のくりにのじゅんに計算します。

40. ⑧ たし算と ひき算の ひっ算(2) 40 ページ

- ① ① 133 ② 131 ③ 108 ④ 102
⑤ 101 ⑥ 100 ⑦ 134 ⑧ 88
⑨ 54 ⑩ 68 ⑪ 74 ⑫ 59
⑬ 75 ⑭ 76 ⑮ 44 ⑯ 96
⑰ 161 ⑱ 465 ⑲ 656 ⑳ 404
- ② しき $270 - 85 = 185$ 答え 185 円

考えの ① ⑪、⑮、⑯のように、一の位の計算で、十の位が0でくり下げることができないとき、百の位から順にくり下げるところが間違えやすいので注意します。

41. こんにちは さようなら 41 ページ

- ① ① しき $21 + 3 = 24$ 、 $24 + 2 = 26$ 答え 26 さつ
② しき $3 + 2 = 5$ 、 $21 + 5 = 26$ 答え 26 さつ
- ② ① しき $15 + 5 = 20$ 、 $20 - 2 = 18$ 答え 18 ぴき
② しき $5 - 2 = 3$ 、 $15 + 3 = 18$ 答え 18 ぴき

考え方 ① ① ふえたじゅんにたします。
② ふえた分をさきに計算してたします。

42. ⑨ しきと 計算 42 ページ

- ① ① $12 + 2 + 5 = 19$ 答え 19 わ
② $12 + (2 + 5) = 19$ 答え 19 わ
- ② しき $20 + 6 + 8 = 34$ 答え 34 わ
③ しき $25 + (4 + 6) = 35$ 答え 35 こ
④ ① 17 ② 20 ③ 32 ④ 68


考え方 ① ① じゅんに3つの数を1つのしきにまとめてたすたし算のしきをつくります。 $12 + 2 = 14$ 、 $14 + 5 = 19$ の2つのしきを1つにまとめると、 $12 + 2 + 5 = 19$ となります。
② ふえた数をまとめてたすしきをつくります。 $2 + 5 = 7$ 、 $12 + 7 = 19$ の2つのしきを()をつかって1つにまとめると、 $12 + (2 + 5) = 19$ となります。()の中はさきにまとめて計算します。

43. ⑩ かけ算(1) 43 ページ

- ① しき $6+6+6=18$ 答え 18こ
 ② ① 3×5
 ② しき $3+3+3+3+3=15$ 答え 15cm
 ③ ① しき $8 \times 4=32$ 答え 32こ
 ② しき $3 \times 9=27$ 答え 27cm

考え方 ① 6この3つ分だから、
 $6+6+6=18$ (かけ算では $6 \times 3=18$ です。)
 ② ① 3cm の5つ分だから、 3×5 とか
 きます。これを 5×3 とかくと、 5cm の
 3つ分となってしまいます。かけ算では、
 しきのかき方によくちゅういしましょう。

44. ⑩ かけ算(1) 44 ページ

- ① ① 3ばい ② 4×3 ③ |ばい
 ② 
 しき $2 \times 3=6$ 答え 6cm
 ③ ① しき $3 \times 6=18$ 答え 18こ
 ② しき $4 \times 7=28$ 答え 28こ
 ③ しき $7 \times 5=35$ 答え 35cm

45. ⑩ かけ算(1) 45 ページ

- ① ① $5 \times 1=5$ ^{ごいち}五一が 5
 $5 \times 2=10$ ^{ごに}五二 10
 $5 \times 3=15$ ^{ごさん}五三 15
 $5 \times 4=20$ ^{ごし}五四 20
 $5 \times 5=25$ ^{ごご}五五 25
 $5 \times 6=30$ ^{ごろく}五六 30
 $5 \times 7=35$ ^{ごしち}五七 35
 $5 \times 8=40$ ^{ごはち}五八 40
 $5 \times 9=45$ ^{ごく}五九 45
 ② かけられる数、かける数
 ② しき $5 \times 3=15$ 答え 15こ
 ③ しき $5 \times 9=45$ 答え 45ページ

考え方 ① 九九をおぼえると、かけ算の答
 えがすぐにもとめられて、ひとつひとつた
 し算をしなくてすみ、べんりです。

46. ⑩ かけ算(1) 46 ページ

- ① $2 \times 1=2$ ^{にいち}二一が 2
 $2 \times 2=4$ ^{ににん}二二が 4
 $2 \times 3=6$ ^{にさん}二三が 6
 $2 \times 4=8$ ^{にし}二四が 8
 $2 \times 5=10$ ^{にご}二五 10
 $2 \times 6=12$ ^{にろく}二六 12
 $2 \times 7=14$ ^{にしち}二七 14
 $2 \times 8=16$ ^{にはち}二八 16
 $2 \times 9=18$ ^{にこ}二九 18
 ② しき $2 \times 8=16$ 答え 16cm
 ③ しき $2 \times 4=8$ 答え 8ぴき

考え方 2のだんの九九です。答えが1け
 たの九九は「二一が2」のように、「が」を入
 れます。「が」を入れると、ちょうしがよく
 て、おぼえやすいですね。「二二が4」は、
 かける数の二は「にん」といい、四は「し」、
 七は「しち」、九は「く」といいます。九九は、
 何のだんかによって、同じ数でも、いい方
 がちがうことにちゅういしましょう。

47. ⑩ かけ算(1) 47 ページ

- ① $3 \times 1=3$ ^{さんいち}三一が 3
 $3 \times 2=6$ ^{さんに}三二が 6
 $3 \times 3=9$ ^{さんさん}三三が 9
 $3 \times 4=12$ ^{さんし}三四 12
 $3 \times 5=15$ ^{さんご}三五 15
 $3 \times 6=18$ ^{さんろく}三六 18
 $3 \times 7=21$ ^{さんしち}三七 21
 $3 \times 8=24$ ^{さんぱち}三八 24
 $3 \times 9=27$ ^{さんこ}三九 27
 ② しき $3 \times 5=15$ 答え 15本
 ③ しき $3 \times 7=21$ 答え 21こ

考え方 3のだんは、かける数が1ふえると、
 答えは3ずつふえていきます。3のだん
 の九九では、「三三が9」を「さんさんがく」と
 いい、三のことを「さ」や「ざん」といいます。
 「三六 18」では「さぶろく 18」と三のこ
 とを「さぶ」といい、「三八 24」は八のこ
 とを「ぱ」とよぶことにちゅういしましょう。

48. ⑩ かけ算(1)

48 ページ

- ① $4 \times 1 = 4$ …… 四一が 4
 $4 \times 2 = 8$ …… 四二が 8
 $4 \times 3 = 12$ …… 四三 12
 $4 \times 4 = 16$ …… 四四 16
 $4 \times 5 = 20$ …… 四五 20
 $4 \times 6 = 24$ …… 四六 24
 $4 \times 7 = 28$ …… 四七 28
 $4 \times 8 = 32$ …… 四八 32
 $4 \times 9 = 36$ …… 四九 36
- ② しき $4 \times 6 = 24$ 答え 24こ
 ③ しき $4 \times 7 = 28$ 答え 28mm

考え方 4のだんは、かける数が1ふえると、答えは4ずつふえていきます。4のだんの九九は、どれも、四は「し」とよんでいます。かける数のほうは、「四八32」の八だけが「は」といいます。

49. ⑩ かけ算(1)

49 ページ

- ① しき $5 \times 6 = 30$ 答え 30本
 ② しき $3 \times 6 = 18$ 答え 18こ
 ③ しき $2 \times 5 = 10$ 答え 10cm
 ④ しき $4 \times 3 = 12$ 答え 12人

考え方 かけ算のしきをつくって、答えをもとめるときに、ちゅういしなければならぬことがあります。それは、 5×3 というときは、5の3つ分といういみになることです。これを、 3×5 とかくと、3の5つ分といういみになり、答えは同じ15でも、しきのいみがちがうことにちゅういしましょう。

- ① 5本の6つ分だから、しきは 5×6 となります。もんだい文にでてくる数のじゅんに、 6×5 とすると、しきのいみがちがうこととなります。
- ② ドーナツは、1はこ分の数3こで、その6はこ分だから、しきは 3×6 となります。

50. ⑩ かけ算(1)

50 ページ

- ① ①9
②7
③3
④4
- ② ①2 ②12 ③15
④28 ⑤10 ⑥14
⑦24 ⑧18 ⑨12
⑩45 ⑪16 ⑫15
- ③ しき $2 \times 8 = 16$ 答え 16こ

考え方 ③ 2この8ばいになります。 8×2 とすると、ちがういみになってしまいます。「何こ」とたずねられているので、「16こ」と答えをかきましょう。

もうひと 九九で、覚えにくいところ、間違えやすいところができたら、その九九は何回も練習しましょう。

① かけ算のもとになる考え方についての問題です。「何のいくつ分」という意味を、しっかり読み取れるようにしましょう。

51. ⑪ かけ算(2)

51 ページ

- ① $6 \times 1 = 6$ …… 六一が 6
 $6 \times 2 = 12$ …… 六二 12
 $6 \times 3 = 18$ …… 六三 18
 $6 \times 4 = 24$ …… 六四 24
 $6 \times 5 = 30$ …… 六五 30
 $6 \times 6 = 36$ …… 六六 36
 $6 \times 7 = 42$ …… 六七 42
 $6 \times 8 = 48$ …… 六八 48
 $6 \times 9 = 54$ …… 六九 54
- ② しき $6 \times 8 = 48$ 答え 48こ
 ③ しき $6 \times 3 = 18$ 答え 18cm

考え方 6のだんの九九は、かける数が1ふえると、答えは6ずつふえます。「六九54」は「ろっく54」とよむことにちゅういしましょう。

52. ⑪ かけ算(2)

52 ページ

- ① $7 \times 1 = 7$ ……^{しちいち}七一が 7
 $7 \times 2 = 14$ ……^{しちに}七二 14
 $7 \times 3 = 21$ ……^{しちさん}七三 21
 $7 \times 4 = 28$ ……^{しちし}七四 28
 $7 \times 5 = 35$ ……^{しちご}七五 35
 $7 \times 6 = 42$ ……^{しちろく}七六 42
 $7 \times 7 = 49$ ……^{しちしち}七七 49
 $7 \times 8 = 56$ ……^{しちほ}七八 56
 $7 \times 9 = 63$ ……^{しちく}七九 63

② (じゅんに)かける、7

③ しき $7 \times 8 = 56$ 答え 56まい

考え方 7のだんは、かける数が1ふえると、答えは7ずつふえます。「七六42」は「しちろく、しじゅうに」、「七七49」は「しちしち、しじゅうく」といいます。

③ 7まいの8つ分だから、 7×8 というかけ算のしきでもとめます。

53. ⑪ かけ算(2)

53 ページ

- ① $8 \times 1 = 8$ ……^{はちいち}八一が 8
 $8 \times 2 = 16$ ……^{はちに}八二 16
 $8 \times 3 = 24$ ……^{はちさん}八三 24
 $8 \times 4 = 32$ ……^{はちし}八四 32
 $8 \times 5 = 40$ ……^{はちご}八五 40
 $8 \times 6 = 48$ ……^{はちろく}八六 48
 $8 \times 7 = 56$ ……^{はちしち}八七 56
 $8 \times 8 = 64$ ……^{はちぱ}八八 64
 $8 \times 9 = 72$ ……^{はっく}八九 72

② しき $8 \times 5 = 40$ 答え 40cm

③ しき $8 \times 6 = 48$ 答え 48こ

考え方 8のだんは、かける数が1ふえると、答えは8ずつふえます。「八八64」は「はっば、ろくじゅうし」、「八九72」は「はっく、しちじゅうに」といいます。八は、「はち」のほかに「は」「ぱ」などとよぶこともあるので、ちゅういしましょう。

54. ⑪ かけ算(2)

54 ページ

- ① $9 \times 1 = 9$ ……^{くいち}九一が 9
 $9 \times 2 = 18$ ……^{くに}九二 18
 $9 \times 3 = 27$ ……^{くさん}九三 27
 $9 \times 4 = 36$ ……^{くし}九四 36
 $9 \times 5 = 45$ ……^{くご}九五 45
 $9 \times 6 = 54$ ……^{くろく}九六 54
 $9 \times 7 = 63$ ……^{くしち}九七 63
 $9 \times 8 = 72$ ……^{くは}九八 72
 $9 \times 9 = 81$ ……^{くく}九九 81

② しき $9 \times 9 = 81$ 答え 81こ

③ しき $9 \times 7 = 63$ 答え 63こ

考え方 9のだんは、かける数が1ふえると、答えは9ずつふえます。「九九81」は「くく、はちじゅういち」といいます。1のだから9のだんまでの、かけ算のいい方を九九というのは、この九九81からきています。

55. ⑪ かけ算(2)

55 ページ

- ① $1 \times 1 = 1$ ……^{いんいち}一一が 1
 $1 \times 2 = 2$ ……^{いんに}一二が 2
 $1 \times 3 = 3$ ……^{いんさん}一三が 3
 $1 \times 4 = 4$ ……^{いんし}一四が 4
 $1 \times 5 = 5$ ……^{いんご}一五が 5
 $1 \times 6 = 6$ ……^{いんろく}一六が 6
 $1 \times 7 = 7$ ……^{いんしち}一七が 7
 $1 \times 8 = 8$ ……^{いんはち}一八が 8
 $1 \times 9 = 9$ ……^{いんく}一九が 9

② しき $1 \times 7 = 7$ 答え 7こ

③ (じゅんに)2、3

考え方 1のだんの九九は、「一三が3」のように、かけられる数の一を「いん」ということにちゅういしましょう。

② パンが1この7つ分だから、 1×7 のかけ算のしきになります。

③ 2×3 のしきは、1つ分の数は2で、その3つ分をもとめる計算です。

56. (11) かけ算(2) 56 ページ

- 1 しき $8 \times 7 = 56$ 、 $56 + 90 = 146$
 答え 146円
- 2 しき $5 \times 6 = 30$ 、 $30 - 2 = 28$
 答え 28こ
- 3 ①(じゅんに)2、2、18
 ②(じゅんに)4、6、18

考え方 ① はじめに画用紙のねだんを、 $8 \times 7 = 56$ のかけ算でもとめます。それとクレヨンのねだんをあわせます。

② はじめにあったおかしの数をもとめます。 $5 \times 6 = 30$ で30こ。30こから、食べた2こをひきます。

③ ①2つに分けて、あとからたします。
 ②ないところをあとからひきます。

57. (11) かけ算(2) 57 ページ

- 1 ①7 ②9
- 2 ①12 ②32 ③27
 ④40 ⑤21 ⑥8
 ⑦7 ⑧56 ⑨24
 ⑩18 ⑪48 ⑫42
- 3 しき $7 \times 3 = 21$ 、 $21 + 3 = 24$
 答え 24こ

考え方 ① ①7のだんの九九は、 $7 \times 1 = 7$ 、 $7 \times 2 = 14$ のように、答えが7ずつふえていきます。

③ さらにのっているみかんは、7この3つ分で $7 \times 3 = 21$ 。あと3こをたして、 $21 + 3 = 24$ ともとめます。

おうちの ③ かけ算を使うと、皿にのっているみかんの数を、 $7 \times 3 = 21$ で21個と、簡単に求められて、便利です。

58. (12) さんかくけい 三角形と しかくけい 四角形 58 ページ

- 1 ①三 ②四
- 2 あ□ い△ う□ え×
 お× か× き× く□
- 3 ア辺 ①ちょう点

考え方 ② えは、きちんとかこまれていないところがあるので、三角形になりません。おは、かこんだ線に直線でないものがあるので、四角形になりません。三角形も四角形も、きちんと直線でかこまれていなければなりません。

59. (12) 三角形と 四角形 59 ページ

- 1 ①
- 2 ①い ②か
- 3 あ× い○ う×
 え○ お× か○

考え方 ② 三角じょうぎの、いやかのかどの形を直角といいます。

③ あ～かは、どれもみな四角形です。その中で、直角が4つあるものが長方形です。直角の数は、あが2つ、いが4つ、うが0、えが4つ、おが1つ、かが4つです。

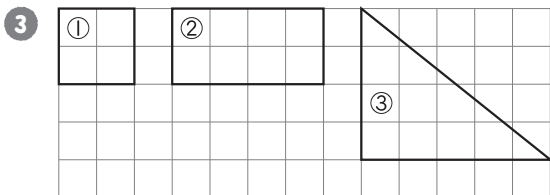
60. (12) 三角形と 四角形 60 ページ

- 1 正方形
- 2 長方形 う、か 正方形 あ、き

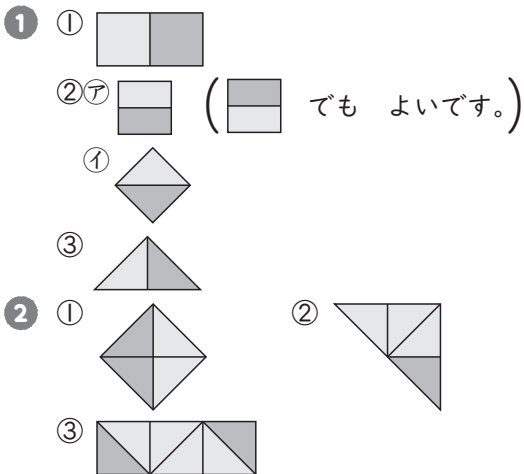
考え方 ① 正方形がどんな形の四角形かをまとめています。

② 長方形と正方形のちがいは、辺の長さがみんな同じかどうかでわかります。あときは、辺の長さがみんな同じで、かどがみんな直角だから正方形です。うとかは、むかいあう2つの辺の長さが同じで、かどがみんな直角だから長方形です。いは、むかいあう2つの辺の長さがちがいます。かども直角でないものがあります。えとおは、むかいあう2つの辺の長さは同じですが、かどが直角ではありません。

- 1 ① 直角三角形 ② 直角三角形
2 い、え



考え方 1 直角のかどのある三角形を、直角三角形といいます。ここでは、ただ三角形というのではなく、直角三角形と答えましょう。
3 正方形がならんでいる紙を方がん紙といいます。方がん紙の1ますは、たてもよこも1cmです。図をかくところは、方がん紙のどこでもかまいません。①~③がかさならないようにかきましょう。②、③は、図のむきがかわっていてもよいです。



考え方 1 ① 正方形を2つならべると長方形になります。
② ア この長方形をたてに2つならべると正方形になります。
① 長い辺をくっつけて上と下にならべると正方形になります。
③ 上の答えのほかにも、右のようにたてにならべても、直角三角形ができます。

- 1
しき $25 - 7 = 18$ 答え 18こ
2
しき $20 + 8 = 28$ 答え 28わ
3 しき $8 + 5 = 13$ 答え 13人

考え方 1 みきさんはまりさんより7こ少ないから、 $25 - 7$ のひき算でもとめます。
2 にわとりははとより8わ多いから、 $20 + 8$ のたし算でもとめます。
3 いぬをすきな人は、ねこをすきな人より5人多いから、 $8 + 5$ のたし算でもとめます。

- 1 2人
2 5人
3 7番目
4 8番目

考え方 1 かなさんのうしろに8人いますから、かなさんまでで9人です。かなさんの前には、 $11 - 9 = 2$ で2人です。
前 ○○●○○○○○○○○うしろ
←8人→
2 前 ○○○●○○○○○○うしろ
←3人→
3 左 ○○○○○○●○○○ 右
↑ 右から4番目
4 左 ○○○○○○●○○○○○○○ 右
↑ 左から6番目

考え方 3 $40+50+30=120$ 、
120cm は 1m20cm。

72. (15) 1000を こえる 数 **72**
ページ

- ① ①4527 ②(じゅんに)5、2、8、1
- ② ①2254 ②3809
③1006 ④8040
- ③ ①千三百二十九 ②二千七百十
③六千六十八 ④七千七
- ④ 6009



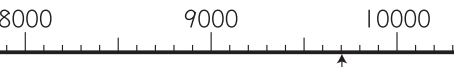
考え方 2 ③千六は、千と六だから、
1000と6で1006と考えます。

73. (15) 1000を こえる 数 **73**
ページ

- ① ①1000 ②1500 ③43
- ② 56こ
- ③ 4200
- ④ (じゅんに)6、60
- ⑤ 1100

考え方 1 ①100を10こあつめると
1000です。

74. (15) 1000を こえる 数 **74**
ページ

- ① ①(じゅんに)10000、一万 いちまん
②9999
- ② ①あと2000 ②あと800
- ③ ① 
② 
③ 

- ④ ① $5810 > 4990$
② $7523 < 7689$

考え方 4 左のほうが大きいときは>、右
のほうが大きいときは<を、つかいます。

75. (16) はこの 形 **75**
ページ

- ① ①面 めん ②辺 へん ③ちょう点 てん
- ② ①アのはこ (長方形)
①のはこ (正方形)
②6つ
③2つ(ずつ)
- ③ ①12
②8つ

考え方 はこの形には、面が6つ、辺が12、
ちょう点が8つあります。

- ② ①はこの面は、長方形や正方形の形
をしています。アのはこの面は、ぜんぶ
長方形です。①のはこの面は、ぜんぶ正
方形です。
- ③ はこの形には、辺が12、ちょう点が
8つあります。

76. (16) はこの 形 **76**
ページ

- ① ①2つ ②2つ ③2つ
- ② ①ウ ②6つ
- ③ ①ア4本(ずつ) ①4本(ずつ)
ウ4本(ずつ)
②8こ

考え方 1 このはこの形には、同じ形の面
が2つずつあります。

- ② さいころの形は、どの面も大きさが同
じ正方形で、面は6つあります。
- ③ ひごとねんど玉をつかって、はこの形
をつくるときは、辺にあたるのがひごと、
ちょう点にあたるのがねんど玉です。はこ
の形には、辺が12、ちょう点が8つあり
ます。

77. (17) ぶん すう 数 **77**
ページ

- ① ア二分の一 ① $\frac{1}{2}$ ウ四分之
② $\frac{1}{4}$ ②分数
- ② ①① ②ウ ③ア
- ③ ①9こ ②6こ

考え方 ② いくつに分けた | 1つ分かを考えます。①はもとの大きさを同じ大きさに8つに分けた | 1つ分をあらわし、八分の一といいます。 $\frac{1}{2}$ の2つ分や、 $\frac{1}{4}$ の4つ分、 $\frac{1}{8}$ の8つ分はもとの大きさになります。

78. たし算とひき算/たし算とひき算のひき算/1000をこえる数 78 ページ

- ★ ① 50 ② 92 ③ 23
 ④ 71 ⑤ 28 ⑥ 89
- ★ ① 69 ② 119 ③ 123 ④ 562
 ⑤ 2 ⑥ 16 ⑦ 76 ⑧ 68
 ⑨ 48 ⑩ 645 ⑪ 132 ⑫ 153
- ★ 7000 8000 9000 10000

考え方 ★ 一のくらい、十のくらいのじゅんに計算します。

★ たし算ではくり上がり、ひき算ではくり下がりにきをつけましょう。くり上がった数、くり下がった数をわすれないことがたいせつです。②は、十のくらいにくり上がりのあるたし算です。百のくらいに | くり上がります。③は、一のくらいにも、十のくらいにもくり上がりがあるたし算です。⑤は、十のくらいから一のくらいへ | くり下げます。⑦は、百のくらいから十のくらいへ | くり下げます。

★ 1000 ずつ大きくなっています。

おうちの ★ くり上がり、くり下がりのある計算を間違えたら、繰り返し練習して、間違えないようにしましょう。

79. かけ算 79 ページ

- ★ ① 45 ② 16 ③ 12 ④ 18
 ⑤ 28 ⑥ 35 ⑦ 81 ⑧ 6
 ⑨ 48 ⑩ 56
- ★ ① 1×6 、 2×3 、 3×2 、 6×1
 ② 2×6 、 3×4 、 4×3 、 6×2
 ③ 7×7

- ★ ① しき $5 \times 7 = 35$ 答え 35 まい
 ② しき $8 \times 7 = 56$ 答え 56 まい

考え方 ★ ① 5まいの7つ分だから、 $5 \times 7 = 35$ で 35 まいです。
 ② 8まいの7つ分だから、 $8 \times 7 = 56$ で 56 まいです。

おうちの 九九は、どの段でもみんな言えるように、正しく覚えておきましょう。

★ は、式をつくるときに注意しましょう。カードの枚数だから、何枚の何人分と考えます。① $7 \times 5 = 35$ という式では、7人の5つ分となって、35人という答え方になります。

80. 長さ/時/時刻/時間/かさ 80 ページ

- ★ ① 10 ② 100
 ③ 15 ④ 245
- ★ ① (じゅんに) 7、45
 ② ア 2 ① 20 ④ 2000
- ★ ① ① ② ② ③ ③

考え方 ★ ① 長いはりが | 2 を通りすぎて 9 までもどります。何時のぶ分もかわって、7時になります。時こくは午前 8 時 45 分ではなく、午前 7 時 45 分になります。
 ② $1L = 10dL = 1000mL$ です。

おうちの 長さやかさは、単位の間の関係をしっかり覚えることが大切です。

$1cm = 10mm$ 、 $1m = 100cm$ 、
 $1L = 10dL$ 、 $1dL = 100mL$

であることを身につけさせましょう。

★ 正方形は、角がみんな直角で、辺の長さがみんな同じ四角形です。

長方形は、角がみんな直角になっている四角形です。直角三角形は、1つの角が直角になっている三角形です。図形を構成する要素に着目し、図形の違いをしっかりと理解させましょう。